

# やひこ 豊かな弥彦村を創る会

討議資料



(小林とよひこ後援会だより)

新春号

第13号 平成28年1月20日



「豊かな弥彦村を創る会」発起人代表武田芳久より新年のご挨拶  
皆様、新年おめでとうございます。旧年中は、大変お世話になりました。お陰様で小林村長就任から10ヶ月あまりが経過致しました。少しずつですが、小林村政の形が見えつつあるように感じております。実際、みなさんに見えない案件も多く未だよく理解できずに批判の声もありますが、小林村長は、公約の実現のために身を粉にして働いております。「豊かな弥彦村を創る会」は、小林村長と共に新しい弥彦の村創りをめざします。本年も、皆様方のご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

「豊かな弥彦村を創る会」小林豊彦村長より新年のご挨拶  
豊かな弥彦村を創る会の皆さん、明けましておめでとうございます。皆さんそれぞれ素晴らしい新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

私自身も皆様のご支持、励ましのおかげで村長就任後最初の10ヶ月を無事乗り切り、新年を迎えることができました。この10ヶ月は本当に幸運に恵まれた滑り出しでした。モンゴルとの新しい関係の構築、弥彦駅前長の懸案だった廃墟となっていた「やひこ観光ホテル」の村による買収、弥彦競輪事業の数年ぶりの150億円台突破、日本テレビの超人気番組「所さんの笑ってこらえて、ダーツの旅」弥彦村取材放映など、弥彦の大神様のご加護のお陰としか思えないほどついていました。

さて、平成28年の今年には小林村政の実質的なスタートの年となります。初年度は2月22日就任のため、前村長が決めておいた人事、予算をほとんど踏襲したためです。村長に就任して分かったことは、私が村長選挙に立候補した最大の理由であった村の財政悪化が、残念ながら事実であるということでした。弥彦村は平成24年度から26年度まで3年連続実質単年度赤字でした。大谷村政はその事実を村民の皆さんに伝えていなかったのです。理由はわかりません。事実は村民の皆さんには村の貯金（財政調整基金）を取り崩し、赤字を穴埋めした後の数字だけを発表していたのです。赤字の原因は、道路など公共事業に対して収入を無視して進めた結果です。

私は「ガラス張りの村政」を掲げ村長選に立候補しました。今年も村民の皆さんに、可能な限り事実をお伝えし、かつ公正公平、清廉潔白な村政を実現することを念頭にあたってお誓いしたいと思います。今年もご支援、ご協力よろしくお願いたします。



昨年夏御遷座100年記念事業の一環として、彌彦神社相撲場の相撲場開きが行われた。伊勢ヶ浜部屋の横綱日馬富士による土俵入りをはじめ、伊勢ヶ浜部屋の公開稽古、初っ切りなどが行われました。土俵の周りの観覧席は、後援会関係者や一般の参加者で一杯となった。日馬富士の土俵入りは、露払い菅富士関、太刀持ち宝富士関を従え不知火型の土俵入りを披露した。会場からは、かけ声と大きな拍手が鳴り響いた。小林豊彦村長からは、「今後の弥彦のさらなる発展へのご支援とご協力、伊勢ヶ浜部屋のご発展、関取衆のご活躍を期待したい」と挨拶がありました。伊勢ヶ浜親方は、大役の「一日弥彦村長」を立派に努められました。(8月26、27日弥彦村役場での写真)